



平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月6日

上場会社名 山下医科器械株式会社  
 コード番号 3022 URL <http://www.yamashitaika.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 尚登  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 秀憲  
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 092-726-8200

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第2四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	24,339	△0.8	6	△96.4	34	△84.8	8	△93.3
28年5月期第2四半期	24,523	5.5	193	9.5	223	4.4	134	7.0

(注) 包括利益 29年5月期第2四半期 △18百万円 (—%) 28年5月期第2四半期 204百万円 (14.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第2四半期	3.59	—
28年5月期第2四半期	52.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	17,396		5,849			33.6
28年5月期	18,725		5,993			32.0

(参考) 自己資本 29年5月期第2四半期 5,846百万円 28年5月期 5,991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
28年5月期	—	0.00	—	50.00	50.00	50.00
29年5月期	—	0.00	—	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	54,695	6.0	418	△28.5	488	△23.1	285	△14.1	113.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年5月期2Q	2,553,000 株	28年5月期	2,553,000 株
② 期末自己株式数	29年5月期2Q	47,484 株	28年5月期	47,484 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年5月期2Q	2,505,516 株	28年5月期2Q	2,549,220 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】4ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により個人消費が緩やかな回復を示す一方、中国をはじめとする新興国経済の減速や、欧米の政治・経済を巡る動揺による金融資本市場の変動等により輸出や生産が停滞するなど、不安定な状況で推移しました。

医療業界におきましては、団塊の世代が75歳以上になる2025（平成37）年を見据え、地域包括ケアシステム構築のための地域医療構想の策定が各都道府県において進められており、本年度末の期限を前に順次構想案が公表されております。これは、地域の実情に応じて将来の医療需要の変化を予測し、それに適合した医療提供体制の構築を目指すもので、医療機関の機能分化・連携を促進するものとされております。

当医療機器業界におきましては、病床機能の分化促進や在宅医療推進政策等を背景に、医療機関の経営改善やコスト削減に向けた取り組みへの協力要請が強まっており、各企業は従来以上の提案力を求められております。

このような状況の中、当社グループでは、医療機関の経営改善に向けた協力要請の高まりを受け、消耗品管理の効率化やコスト削減提案を積極的に行い、基盤事業であるSPD事業の拡大に取り組んでおります。平成28年9月には、西九州地区の物流拠点として長崎TMSセンターの稼働を開始し、物流体制の充実による商品供給の迅速化・安定化を実現することにより、さらなる顧客基盤の拡大を図っております。また、在宅医療・介護福祉分野における需要増加に対応するため、平成28年6月に「ヘルスケア事業推進部」を新設し、当社グループが出資しております国内の新興企業が開発する介護関連製品の取り扱いを開始しております。今期はさらに、医療IT分野における合弁会社との連携強化や、通販事業における法人向け販売チャネルの拡充、整形分野における子会社事業の強化等に取り組んでおります。

当期は、上記の営業努力を継続しておりますが、大型の設備案件が減少していることにより、主として一般機器分野における売上が減少したこと、及び医療情報事業の売上を合弁会社に移行したことから、業績面は前年実績を下回って推移しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は243億39百万円（前年同四半期比0.8%減）となり、利益面につきましては、売上減少による売上総利益の減少、及び長崎TMSセンター設立に伴う販売費及び一般管理費（消耗品費等）の増加により、営業利益は6百万円（前年同四半期比96.4%減）、経常利益は34百万円（前年同四半期比84.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8百万円（前年同四半期比93.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、大型の設備案件の減少により、手術室関連機器等の医療機器備品や、画像診断機器等の売上が減少したことから39億25百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。一般消耗品分野では、SPD契約施設の売上増加により98億48百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、電子内視鏡システム等の内視鏡備品の売上増加により67億57百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。整形、理化学、眼科、皮膚・形成により構成される専門分野では、理化学備品の売上増加により31億35百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、医療ITメーカーとの合弁会社設立に伴う売上減少により4億97百万円（前年同四半期比31.8%減）となりました。

この結果、医療機器販売業の売上高は241億64百万円（前年同四半期比0.8%減）、セグメント利益は2億89百万円（前年同四半期比43.9%減）となりました。

医療機器販売業の売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額	前年同期比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
一般機器分野	4,308	17.7	3,925	16.2	△382	91.1
一般消耗品分野	9,724	39.9	9,848	40.8	123	101.3
低侵襲治療分野	6,486	26.6	6,757	28.0	270	104.2
専門分野	3,107	12.8	3,135	13.0	28	100.9
情報・サービス分野	729	3.0	497	2.0	△232	68.2
小計	24,356	100.0	24,164	100.0	△192	99.2

## ② 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は36百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期比35.3%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、173億96百万円となり、前連結会計年度末に比べて13億28百万円減少いたしました。流動資産は、主に現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べて16億6百万円減少し、124億68百万円となりました。固定資産は前連結会計年度末に比べて2億77百万円増加し、49億28百万円となりました。

## (負債及び純資産の部)

負債は、支払手形及び買掛金、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べて11億84百万円減少し、115億47百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて1億44百万円減少し、58億49百万円となり、自己資本比率は33.6%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により20億98百万円減少し、投資活動により3億84百万円減少し、財務活動により1億24百万円減少いたしました。この結果、資金残高は前連結会計年度末から26億7百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末残高は9億37百万円となりました。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末において、営業活動により減少した資金は20億98百万円（前年同四半期は21億35百万円の減少）となりました。

主な要因としては、棚卸資産の9億1百万円増加及び仕入債務の6億79百万円減少によるものであります。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末において、投資活動により減少した資金は3億84百万円（前年同四半期は6億20百万円の減少）となりました。

主な要因としては、有形固定資産の取得による支出3億68百万円によるものであります。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末において、財務活動により減少した資金は1億24百万円（前年同四半期は1億92百万円の減少）となりました。

主な要因としては、株主配当金1億24百万円の支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報

平成29年5月期の連結業績予想につきましては、平成28年12月27日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,544,803	937,713
受取手形及び売掛金	8,357,745	8,329,447
商品	1,855,305	2,759,964
未収還付法人税等	238	37
その他	328,904	453,484
貸倒引当金	△12,322	△12,054
流動資産合計	14,074,674	12,468,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,379,481	3,588,999
減価償却累計額	△1,331,170	△1,383,587
建物及び構築物(純額)	1,048,311	2,205,411
土地	1,769,927	1,769,927
建設仮勘定	885,258	—
その他	544,891	593,265
減価償却累計額	△476,181	△494,184
その他(純額)	68,709	99,081
有形固定資産合計	3,772,207	4,074,420
無形固定資産	27,166	51,435
投資その他の資産		
投資有価証券	592,340	529,830
関係会社株式	10,488	—
その他	248,339	272,625
投資その他の資産合計	851,168	802,455
固定資産合計	4,650,542	4,928,311
資産合計	18,725,217	17,396,904
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,119,374	9,921,609
電子記録債務	—	538,724
未払法人税等	217,525	26,232
賞与引当金	429,489	164,854
その他	434,955	357,679
流動負債合計	12,201,345	11,009,100
固定負債		
退職給付に係る負債	312,257	319,622
その他	218,307	218,935
固定負債合計	530,564	538,557
負債合計	12,731,909	11,547,658

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	494,025	494,025
資本剰余金	627,605	627,605
利益剰余金	4,772,022	4,655,736
自己株式	△84,280	△84,280
株主資本合計	5,809,371	5,693,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	306,425	262,247
退職給付に係る調整累計額	△124,254	△108,374
その他の包括利益累計額合計	182,171	153,873
非支配株主持分	1,764	2,286
純資産合計	5,993,307	5,849,246
負債純資産合計	18,725,217	17,396,904



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
売上高	24,523,746	24,339,707
売上原価	21,780,996	21,641,245
売上総利益	2,742,750	2,698,462
販売費及び一般管理費	2,549,302	2,691,484
営業利益	193,447	6,978
営業外収益		
受取利息	1,811	103
受取配当金	1,768	2,346
仕入割引	23,460	21,923
受取手数料	9,213	9,166
その他	9,129	8,226
営業外収益合計	45,384	41,767
営業外費用		
支払利息	1,204	913
持分法による投資損失	9,746	10,488
手形売却損	—	1,317
その他	3,955	1,985
営業外費用合計	14,906	14,705
経常利益	223,925	34,040
特別損失		
固定資産除却損	229	—
特別損失合計	229	—
税金等調整前四半期純利益	223,695	34,040
法人税、住民税及び事業税	11,828	17,579
法人税等調整額	77,227	6,948
法人税等合計	89,056	24,527
四半期純利益	134,638	9,512
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△216	522
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,855	8,990

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	134,638	9,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,786	△44,177
退職給付に係る調整額	1,023	15,879
その他の包括利益合計	69,809	△28,297
四半期包括利益	204,448	△18,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,665	△19,307
非支配株主に係る四半期包括利益	△216	522

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	223,695	34,040
減価償却費	62,495	75,893
貸倒引当金の増減額(△は減少)	977	△268
賞与引当金の増減額(△は減少)	△287,369	△264,635
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,518	30,199
受取利息及び受取配当金	△3,580	△2,450
支払利息	1,204	913
固定資産除却損	229	—
持分法による投資損益(△は益)	9,746	10,488
売上債権の増減額(△は増加)	△749,296	28,297
たな卸資産の増減額(△は増加)	△65,170	△901,886
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,132,838	△679,184
その他	△188,153	△230,570
小計	△2,124,541	△1,899,162
利息及び配当金の受取額	3,562	2,438
利息の支払額	△1,215	△990
法人税等の支払額	△16,831	△200,571
法人税等の還付額	3,070	200
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,135,955	△2,098,084
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△300,000	—
有価証券の償還による収入	600,000	—
有形固定資産の取得による支出	△812,712	△368,156
無形固定資産の取得による支出	△2,985	△10,206
投資有価証券の取得による支出	△58,668	△1,309
関係会社株式の取得による支出	△39,200	—
長期前払費用の取得による支出	△7,142	△4,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△620,708	△384,011
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△109,727	△124,993
自己株式の取得による支出	△83,142	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192,869	△124,993
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,949,533	△2,607,090
現金及び現金同等物の期首残高	3,967,580	3,544,803
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,018,047	937,713

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医療機器 販売業	医療モール 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	24,243,604	36,386	24,279,990	243,755	—	24,523,746
セグメント間の 内部売上高又は振替高	112,788	—	112,788	—	△112,788	—
計	24,356,393	36,386	24,392,779	243,755	△112,788	24,523,746
セグメント利益又は損失(△)	515,655	4,002	519,658	△9,352	△316,858	193,447

(注) 1 「その他」の区分は、主として自社グループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△316,858千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△319,952千円、棚卸資産の調整額等3,093千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医療機器 販売業	医療モール 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	24,149,356	36,871	24,186,228	153,479	—	24,339,707
セグメント間の 内部売上高又は振替高	14,716	—	14,716	28	△14,745	—
計	24,164,073	36,871	24,200,945	153,507	△14,745	24,339,707
セグメント利益又は損失(△)	289,124	2,587	291,712	24,769	△309,504	6,978

(注) 1 「その他」の区分は、主として自社グループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△309,504千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△310,104千円、セグメント間取消消去600千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。